

2010年度 幹事会議事録

●日時  
2011年7月9日(土)  
15:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校 422号教室

- 出席者
- |        |         |
|--------|---------|
| 秋元圭一   | [会 長]   |
| 日野 高   | [副 会 長] |
| 甲斐光省   | [副 会 長] |
| 土橋洋一   | [常 任]   |
| 竹島 巍   | [常 任]   |
| 西田一成   | [常 任]   |
| 渡部 征 明 | [常 任]   |
| 大村政幸   | [常 任]   |
| 浜村圭一   | [常 任]   |
| 松岡和彦   | [常 任]   |
| 小山 弘   | [常 任]   |
| 勝山昌幸   | [常 任]   |
| 永吉昭浩   | [常 任]   |
| 大野美菜子  | [常 代]   |
| 目須田 修  | [幹 事]   |
| 竹澤和輝   | [幹 事]   |
| 幸坂 靖子  | [幹 事]   |
| 今村 恵   | [幹 事]   |
| 高石 昂   | [幹 事]   |
| 土田花奈   | [幹 代]   |

●委任欠席(カッコ内→代理人)  
三好耕之(秋元)  
藤川正美  
桜井裕美  
白石龍子  
富澤和治  
その他36名

幹事出席者 20名  
委任欠席者 41名  
無回答者(決算・予算承認) 120名  
(幹事181/225名 定足数成立)

●議事進行  
議長・進行:松岡和彦

●議事録  
書記:久末静香  
作成:大村政幸

- 議題
- 1 出席幹事自己紹介
  - 2 2010年度決算承認の件
  - 3 2011年度予算案承認の件
  - 4 2011年度体制の報告
  - 5 他・意見交換

■議事録署名・押印

秋元圭一: KA  
松岡和彦: 松岡  
日野 高: 日野

◎はじめに

★出欠確認(左記参照)

★会長挨拶

- ・幹事会の年号について繰り下げることとした(2010年度決算承認が議題にあるため)。
- ・「2010年度卒業の幹事の方は震災の影響で卒業式が中止となり、幹事としての役割を伝えられなかったからかもしれないが、今回3名の方が出席いただき嬉しく思う」と述べた。

議題1 出席幹事自己紹介(常任幹事は役職紹介)

出席の方々から、現況などを含めた自己紹介が行われた。

議題2 2010年度決算承認の件

秋元会長は「6月20日に監査を行い、小林氏、中村氏により承認いただいた。その後、幹事宛に幹事会開催のお知らせと、2010年度活動報告・決算報告・監査報告、2011年度活動計画・予算案の報告をし、2010年度決算報告と2011年度予算案の承認をお願いした」と述べた。その結果(幹事総数225名の内187名に発送、6名が住所不明で未着)有効数181名。2010年度決算は出席幹事の挙手により全会一致で承認を得た。

議題3 2011年度予算案承認の件

★秋元会長は、2010年度決算と同様に幹事総数225名の内、有効数181名と報告し、2011年度予算案は出席幹事全員の挙手により全会一致で承認を得た。

その後、以下の様な意見が出た。

- 1) 日野氏から「運営費と雑費の違いなどがわかりづらいので、各委員会などの項目を統一するなどして、項目に補足を付けてはどうか」と提案があり、秋元会長は「今年度の決算から区分けに際して整合性をつけたい」と述べた。
- 2) 松岡氏から「選挙管理に関して説明が必要かと思う」と提案があり、秋元会長は選挙方法について、幹事全員が常任幹事になる権利を持っており、そのための選挙であることや、イベントなどで協力して頂ける中で、常任幹事として迎える態勢もあること、同数票の場合はなるべく若い幹事さんを優先して協力を仰いでいることなどを説明した。
- 3) 土橋氏より、交通費に関して、委員会などの担当別に出ているのだから分かりづらいとの指摘があり、秋元会長は、報告用に1頁にまとめた為と説明し「今後はわかり易く表記していく」と述べた。

議題4 2011年度体制の報告

秋元会長から本年度の役員が報告された。

会長/秋元圭一 副会長/日野高・甲斐光省 事務局長/大村政幸  
常任幹事/土橋洋一・三好耕之・西田一成・藤川正美・秋元圭一・日野 高・渡部征明  
甲斐光省・桜井裕美・大村政幸・内藤義孝・松岡和彦・浜村圭一・白石龍子  
小山 弘・勝山昌幸・永吉昭浩・宮川洋之・角谷祥子・富澤和治・大悟法淳一  
下地典子・松村忠寿・益子直子・和田隆平 (敬称略)

議題5 他・意見交換

●総会パーティーについて

★秋本会長より出席の幹事に対して総会パーティーの概要を説明した。さらに会場はアサビと関連づけた所が良いとの考えのもと、以前に卒展を行った『四谷のアートコンプレックスセンター』が立食で300名まで可能であり候補のひとつにあげた。前回の出席は200名ほど、今回は250名を目標にしたいとのことで、今後も会場の候補を募り徐々に絞っていく方向とした。

★小山氏より「2012年の総会の実行メンバーを早めに決めた方がよい」との提案があった。

★日野氏から「総会パーティーの時に、震災に対し同窓会で何らかのアクション(チャリティーなどの支援)を入れてもいいのではないかと。会員の中に東北出身の方も多くいると思うし、支援の減っていく来年の秋口に向け、何か支援をしてもよいのではないだろうか」との意見があった。

●アサビ同窓会について

★目須田氏が「同窓会の繰越金について、具体的な使用方法を検討しても良いのでは。生徒を増やすための学校経営の協力や生徒の質を高めるために使用する等を考えてはどうか。目減りする会費に対する明確なイメージもあるとよい。さらに言えば、名簿を頼りに先輩のいる会社に就職できるとか、同窓会の存在意義がほしい」と感想を述べた。秋元会長は「常任幹事会でもその話題が出ていて長い目で見ると、決して余裕のある繰越とは言えず、同窓会を運営していくために出費を抑えていくこと、またお金を得る方法も検討していく必要がある、現状では常日頃から協力してもらおう中で、その辺も含めた意見を言ってほしい」と答えた。西田氏から、同窓会は学校から発生しているのではなく有志からできていたという経緯が説明された。日野氏は「同窓生や在校生の支援をすることが同窓会の概念と言える、更なるレベルとアイデアが必要ではないだろうか」と述べ、土橋氏は「卒業生への会費徴収について、今後も検討する必要がある」と述べた。

●『アサビさん・よん会』について

★小山氏より概要説明があり、秋元会長は、同窓会の名簿の協力を促し、会費を安くすることや、運営に予算を与えては等の意見を述べた。

以上で議会は閉会し、終了後の親睦会へ参加が促された。